# ■第３期計画【第５章】評価シート

## 基本目標３　次代を見据えた教育環境の整備

| 政策 | 施策 | NO. | 事業名 | 事業内容 | ア：第３期計画期間（令和７年度）<br>における取組内容の総括 | 評価 | イ：第３期計画期間（令和８年度）<br>における取組・方向性 | 展開 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑴　こどもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備 | ①　確かな学力の向上 | 81 | 小学校・中学校の<br>教育内容の充実 | 各校における児童生徒の実態把握・授業の工夫改善に向けた指導を行い、「知・徳・体」の学力向上を図ります。 | 各校における児童生徒の実態把握・授業の工夫改善に向けた指導を行い、「知・徳・体」の学力向上を図った。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 学校教育課 |
| | | 82 | 各教科主任会の充実 | 各教科の主任会ごとに研究テーマを定め、年間指導計画の見直し等を行います。研究を深めるために必要に応じて各主任会で授業研究会を実施し、教員の指導力向上を図ります。 | 各教科の主任会ごとに研究テーマを定め、年間指導計画の見直し等を行った。研究を深めるために必要に応じて各主任会で授業研究会を実施し、教員の指導力向上を図ることができた。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 学校教育課 |
| | | 83 | 新くまなびスクール | これまでの小・中学校の学力向上の取組や放課後学習に加え、新たに校内教育支援センター（新くまなびスクール）を設置し、不登校支援を行うことで、全ての児童生徒の学びの場を確保します。 | 市内の全ての学校で、これまでの小・中学校の学力向上の取組や放課後学習に加え、新たに校内教育支援センター（新くまなびスクール）を設置し、不登校支援も行った。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 学校教育課<br>教育研究所 |
| | ②　豊かな心と健やかな体の育成 | 84 | いじめ・不登校等解消<br>のための相談体制の充実 | 学校におけるいじめ・不登校の予防や取組、関係機関との連携などを支援するとともに、相談体制の充実を図り、いじめの根絶や学校復帰に向けた取組を行っています。また、平成26年８月に策定した「熊谷市いじめのための基本的な方針」や同年９月に制定した「熊谷市いじめ問題対策連絡協議会等条例」を基に、学校・家庭・地域が連携し地域に根ざした教育を推進します。 | 第２期に引き続き、市内全校で毎月「いじめ調査」を行い、いじめの早期発見・早期対応に努めた。「生徒指導マニュアル」は、より複雑化・困難化する課題に対応できるよう、毎年改訂を行い、より学校現場で活用できるようにした。また、教育相談窓口による教育相談を随時受け付けていたり、各学校へSCやSSWを派遣して相談業務をしたり、地域教育相談員、ほほえみ相談員を各中学校へ配置したりすることで、相談体制の充実を図った。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 学校教育課<br>教育研究所 |
| | | 85 | 非行問題行動防止のため<br>のネットワークの充実 | いじめ・暴力行為の未然防止と不登校児童生徒の減少を目指し設置した熊谷市学校警察等連絡協議会を中心に、本市の生徒指導の課題について、学校と関係諸機関とが更に連携を図り充実できるよう努めます。 | 「学校警察等連絡協議会」は年３回実施し、少年非行情勢について警察の方から講義をいただくなどして理解を深めた。日頃から関係機関と連絡を取り合うことで、円滑に連携することができた。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 教育研究所 |
| | | 86 | 街頭補導活動 | 非行の芽といわれる不良行為等をしている少年少女を早期に発見し、非行を未然に防止することを目的としています。事業継続のために、少年補導員の確保に努めます。 | 中央補導の時間帯を見直したうえで、街頭補導活動を行った。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | こども政策課 |
| | | 87 | 学校保健会 | 市内各小・中学校の学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長等で熊谷市学校保健会を組織し、講演会や研修会の開催などを通じて、学校保健の推進に努めます。 | 講演会（年３回）、広報発行（年１回）、視察（年１回）、研究発表会（年１回）等を継続して実施し、学校保健活動の推進を図った。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | 教育総務課 |
| | | 88 | 共生社会推進のための<br>交流教育の充実 | 特別支援学校と市内小・中学校における支援籍学習（交流）の推進や、特別支援学級と通常の学級との交流及び共同学習を推進することにより、共生社会の充実を図ります。 | 特別支援学校と市内小・中学校における支援籍学習（交流）の推進や、特別支援学級と通常の学級との交流及び共同学習を推進することにより、共生社会の充実を図った。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 教育研究所 |

| 政策 | 施策 | NO. | 事業名 | 事業内容 | ア：第３期計画期間（令和７年度）<br>における取組内容の総括 | 評価 | イ：第３期計画期間（令和８年度）<br>における取組・方向性 | 展開 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑴　こどもの生きる力の育成に向けた学校の教育環境等の整備 | ③　信頼される学校づくりの推進 | 89 | 外部評価等による<br>信頼される学校づくり | 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の導入や外部評価、学習案内「シラバス」の発行等を活用し、学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくりと学校経営の改善を図ります。１年間を見通した評議の運営と内容の充実を図ります。また、いじめ問題に関しては、「熊谷市いじめ問題対策連絡協議会」、「熊谷市いじめ問題専門委員会」、「熊谷市いじめ問題調査委員会」との連携により、いじめ問題の未然防止・早期解決を図り、いじめのない社会の構築に努めます。 | 市内全校で学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の導入や外部評価を行い、学校・家庭・地域が一体となった教育環境づくりと学校経営の改善を進めた。１年間を見通した評議の運営と内容の充実を図った。。また、いじめ問題に関しては、「熊谷市いじめ問題専門委員会」との連携により、いじめ問題の早期解決を図り、いじめのない社会の構築に努めた。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 学校教育課 |
| | ④　乳幼児教育の充実 | 90 | 幼稚園教育の充実 | 小学校への滑らかな接続を目指し、幼児教育のさらなる充実を図ります。 | 小学校への滑らかな接続を目指し、幼児教育のさらなる充実を図った。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | 教育研究所 |
| | | 91 | 認定こども園における<br>児童教育の充実 | 幼稚園機能と保育所機能を一体にした認定こども園の設置を促進し、幼児教育と保育を一体的に行い、充実を図ります。 | 認定こども園への移行について、幼稚園からの相談に対応した。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | 保育課 |
| | | 92 | 私立幼稚園への支援 | 私立幼稚園に通っている園児が、それぞれの幼稚園で充実した教育が受けることができるように市内の各私立幼稚園に補助金を支出し、支援します。 | 私立幼稚園に通っている園児が、それぞれの幼稚園で充実した教育が受けることができるように、市内の各私立幼稚園に補助金を支出した。 | B | 引き続き、補助金等での支援を行っていく。 | 継続 | 教育研究所 |
| | | 93 | 幼稚園・保育所・<br>小学校との連携 | 幼稚園・保育所において、小学校との交流・情報交換を通して学校教育への滑らかな接続を図り、こどもの育ちを支援します。また、幼保小連絡協議会の活性化と幼保小連携教育の充実を図ります。 | 教育委員会と連携し、幼保小連絡協議会を定期的に開催した。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | 保育課 |
| | | | | | 幼保小連絡会にて、幼保小の繋がりや連携について協議、情報共有を積極的に行った。幼保小の教育課程について協議をする機会を設けたことにより、幼保小の連携が一歩前に進んだ。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 教育研究所 |
| | | 94 | 保育所における<br>幼児教育の充実 | 新保育指針に則り「養護と教育を一体的に行うことを特性とする」保育所の保育内容の充実を図ります。 | 「養護と教育を一体的に行う」指針のねらいに則し、基本的生活習慣の自立を目指し、支援の充実を図った。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | 保育課 |
| | | 95 | 幼児教育・保育の質の<br>向上 | 特定教育・保育施設等に実施する複数の指導監督等について、県と連携を図り監査の際に求める資料・様式の統一化や重複する一部の監査項目の省略、集団指導・実施指導の適切な組み合わせを検討する等、効果的な指導監査となるように検討します。 | 県福祉監査課と連携を図り、県が行う施設監査と市が行う法人監査及び確認監査について、重要事項の省略を行ったほか、施設の意向に応じて立入り調査を同日に行った。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | 保育課 |
| | ⑤　指導者の育成推進 | 96 | 教職員の研修 | 教員の指導技術と資質の向上を目指し、研修内容を厳選し、実施します。 | 教員の指導技術と資質の向上を目指し、研修内容を厳選し、実施した。研修後の振り返りシートから充実した研修であったことが明らかになった。委託研究発表会では教員同士がそれぞれの取組を学び合い、活発な発表及び意見交換がなされた。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 教育研究所 |
| | | 97 | 青少年健全育成活動の<br>支援 | こどもが豊かな人間性を育み、健やかに成長するよう、地域で活動している各種団体を支援しています。青少年健全育成団体の支援、活動の後援を行うことで、青少年の健全育成の充実を図ります。 | 熊谷市青少年健全育成市民会議を開催したほか、青少年健全育成事業（「こどもふれあい交流会」など）、「子ども１１０番の家」支援事業などを行った。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | こども政策課 |

| 政策 | 施策 | NO. | 事業名 | 事業内容 | ア：第３期計画期間（令和７年度）<br>における取組内容の総括 | 評価 | イ：第３期計画期間（令和８年度）<br>における取組・方向性 | 展開 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑵　家庭教育への支援 | ①　家庭教育に関する<br>学習機会の充実 | 98 | 家庭教育学級の充実 | 親がこどもに及ぼす影響を自覚し、成育の基本的な場である家庭の環境づくりに積極的に取り組むとともに、家庭教育の大切さを自覚させることを目的としています。現在、各学校で実施している事業を継続させ、全ての小・中学校が家庭教育学級に取り組むことにより、学習機会の充実を図ります。 | 小学校の就学時検診時の子育て講座と、中学校の入学説明会時の子育て講座については、市内の全ての小・中学校で実施した。家庭教育学級については、学校や保護者の多忙化により縮小傾向にあり、令和７年度の実施は小学校１校・中学校１校だった。引き続き講師等の案内を実施し、学習の機会を提供していきたい。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | 社会教育課 |
| | ②　こどもの望ましい<br>生活習慣を育成する<br>ための環境づくり | 99 | 熊谷の子どもたちは、<br>これができます！<br>『４つの実践』と<br>『３減運動』事業 | こどもたちの「生きる力」を支える基本的な生活習慣の確立を目指して、①朝ごはんをしっかり食べる、②呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする、③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う、④友だちをたくさんつくる、の『４つの実践』と①テレビの時間を減らします、②ゲームの時間を減らします、③スマートフォン・携帯電話やパソコンに触れる時間を減らします、の『３減運動』に大人が手本となって取り組んでいます。学校・家庭・地域が連携し、地域に根ざした教育を推進します。 | 子供たちの「生きる力」を支える基本的な生活習慣の確立を目指して、①朝ごはんをしっかり食べる、②呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする、③「ありがとう」「ごめんなさい」と言う、④友だちをたくさんつくる、の『４つの実践』と①テレビの時間を減らします、②ゲームの時間を減らします、③スマートフォンやパソコンに触れる時間を減らします、の『３減運動』に大人が手本となって取り組んでいる。学校・家庭・地域が連携し、地域に根ざした教育を推進していく。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 学校教育課 |
| ⑶　地域の教育力の向上 | ①　居場所づくりの<br>推進 | 100 | 放課後子供教室の推進 | 未来の熊谷をつくる心豊かでたくましいこどもたちを社会全体で育むため、地域の大人の力を結集し、学校・家庭・地域社会でこどもたちを育む機会や場を設け、地域で放課後等の安心・安全な活動拠点をつくるとともに、こどもも大人も、生き生きと輝く社会を構築することを狙いとしています。地域の方々の協力を得ながら合宿通学・農業体験・環境保全など地域の資源を生かした活動を推進します。 | 各小学校区によって実施数に差はあるが、地域の実態に合った活動を工夫して実施できるように支援している。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | 社会教育課 |
| | | 101 | 児童クラブ（民間学童<br>クラブ含む。）と<br>放課後子供教室の連携 | 児童クラブと放課後子供教室について、相互に連携し、一体的実施への発展を目指します。また、福祉部と教育委員会とが情報交換を密にするほか、必要に応じて協議するなど連携を深めるとともに、居場所づくりの拠点として余裕教室を含めた学校施設の積極的な活用を図ります。 | 依然として多い児童クラブの待機児童について、福祉部と教育委員会の共通の課題ととらえ、相互の情報交換を密に行うことで、学校施設（余裕教室、敷地）の活用を図るなど、児童クラブの新規開設や教室の効率的な活用等を行った。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | 保育課 |
| | | | | | 児童クラブの児童が放課後子供教室に積極的に参加できるように働きかけている。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | 社会教育課 |
| | | 102 | 児童育成支援拠点事業の<br>実施 | 養育環境等に課題を抱える児童に対して、当該児童の居場所となる場を開設し、相談及び関係機関との連絡調整を行うとともに、必要に応じて当該児童の保護者に対し、情報の提供、相談及び助言その他の必要な支援を行います。 | 養育環境等に課題を抱える児童に対して、当該児童の居場所となる場を開設し、当該児童の保護者に対し、情報の提供、相談及び助言その他の必要な支援を行った。<br>・利用者数　５人 | C | 引き続き実施する。 | 継続 | こども相談課 |
| | | 103 | 子ども食堂の普及啓発 | 市内に開設されている子ども食堂について、広報活動の援助等を行います。 | 市内に開設されているこども食堂の広報活動等の支援を行った。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | こども相談課 |
| | | 104 | こども応援ネットワーク<br>埼玉の普及啓発 | 貧困の連鎖解消に向け社会貢献活動等を行う団体・企業や個人のネットワークである「こども応援ネットワーク埼玉」について、ホームページ等を用いて周知し、ネットワークがより広いものとなるように努めます。 | 「こども応援ネットワーク埼玉」について、市ホームページで周知を行った。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | こども相談課 |
| | ②　各種交流活動の<br>充実 | 105 | 地域交流の推進 | 学校や社会教育施設に安全で安心して活動できるこどもたちの居場所（活動拠点）をつくり、地域の大人たちをこどもたちの様々な体験活動のアドバイザーとして配置しています。指導者の資質向上及び各放課後子供教室相互の情報交換のための研修会等を実施します。 | 熊谷市放課後子供教室推進事業のさらなる充実を目指し、各放課後子供教室の運営関係者を対象に、市全体の活動状況の見直しや情報共有を行うための研修を実施し、各教室の活動に役立てている。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | 社会教育課 |

| 政策 | 施策 | NO. | 事業名 | 事業内容 | ア：第３期計画期間（令和７年度）<br>における取組内容の総括 | 評価 | イ：第３期計画期間（令和８年度）<br>における取組・方向性 | 展開 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ③　文化・芸術活動の推進 | 106 | 文化・芸術とふれあう機会の促進 | 社会教育施設において、青少年教育を実施し、陶芸や囲碁、郷土の歴史などにふれる機会を創設しています。こどもたちにわかりやすい講義と興味深い現地見学会を行い、文化・芸術及び郷土の歴史に興味が持てるよう、理解しやすい教室を開催します。 | 夏休み及び県民の日に古代体験学習プログラム「あなたも古代人」（まが玉づくりや踊る埴輪づくり等の体験講座）を開催し、古代の人々の暮らしに思いを馳せる講座となっている。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 社会教育課 |
| | | | | | 通常の土曜・日曜における各種教室や大会等の催しのほか、夏休み期間を利用し、こどもたちに興味がもてるような教室を開催した。<br>・青少年教育分野（１０教室）開催 | B | こどもたちが文化や芸術などにふれる機会を創設し、興味を持ち継続的に学べるような教室を開催する。 | 継続 | 中央公民館 |
| | | | | | 多様な学びの場として、以下の講座を開催した。<br>・宿題応援教室（読書感想文・書初め：全２回）<br>　延べ参加者数３４人<br>・人形劇のつどい（夏・冬：全２回）<br>　参加者数１０５人<br>・わくわくキッズランドダンスコース（全１０回）<br>　延べ参加者数１２８人<br>・親子恵方巻（細工寿司：全１回）<br>　延べ参加者数３人 | B | 引き続き、以下の事業を実施していく。<br>宿題応援教室（読書感想文・書初め）<br>人形劇のつどい（夏・冬）<br>わくわくキッズランドダンスコース | 継続 | 妻沼中央公民館 |
| | | | | | 熊谷市の文化財と文化遺産をテーマに子ども歴史教室を通年で月１回開催した。<br>館外学習会も行い、見学を通してより歴史を身近に感じられる機会も設けた。 | A | 引き続き、毎年のテーマを変えながら実施し、郷土の歴史文化へ親しむ機会を設ける。 | 継続 | 熊谷図書館 |
| | | | | | 令和７年度は、当館投影機入替の年であり、恒星数１，０００万個以上投影可能な㈱大平技研製「MEGASTARⅡC」を導入した。<br>来年度のリニューアルオープンに向け、宇宙旅行を疑似体験したり、迫力ある投影が体感できるなど魅力あふれる番組制作を実施した。 | A | 新投影機を導入したことににより、投影はインパクトある番組制作を実施する。<br>また、学校関係者についてもプラネタリウム学習投影を取り入れ、体験学習の周知、普及を図る。 | 拡充 | プラネタリウム館 |
| | ④　読書活動の充実 | 107 | 学校図書館の充実 | 図書を購入するとともに、各校に学校図書館補助員を配置し、読書活動を促し、心豊かな児童生徒の育成を目指します。 | 学校図書の積極的な入れ替えを行い、学校図書館を充実させている。各校に学校図書館補助員を配置し、読書活動を促し、心豊かな児童生徒を育成した。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 学校教育課 |
| | ④　読書活動の充実 | 108 | 子ども読書活動推進事業 | 「熊谷市こども読書活動推進計画」に基づき、おはなし会など、こども向け事業の実施、学校図書館への支援や関係する各団体との連携協力を図ります。 | 本とのふれあい事業ボランティア研修会を開催し、ボランティア団体が、質の高い読み聞かせ活動ができるよう支援している。 | B | 引き続き実施する。 | 継続 | 社会教育課 |
| | | | | | 毎年講師を招き熊谷子ども読書活動推進交流会を開催。研修会や自発的な勉強会等でおはなしボランティアの育成に努める。教育支援として学童や学校でもおはなし会や調べ学習のための団体貸出を行っている。その他保育士・幼稚園教諭等研修会の開催、学校教育課や社会教育課と連携し学校図書館補助員向け研修会等を実施した。 | A | 引き続き、交流会や研修会等で子ども読書活動についての啓発及び技術の向上を図る。 | 継続 | 熊谷図書館 |
| | | 109 | 本とのふれあい事業 | 学校との連携・協力を深め、こどもの読書活動を推進します。 | 本とのふれあい事業への中学校への参加を促し、現在中学校が１校参加している。また、未参加の小学校へも事業への参加を促し、より多くのこどもたちに読み聞かせに触れる機会を提供できるようにしている。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 社会教育課 |

| 政策 | 施策 | NO. | 事業名 | 事業内容 | ア：第３期計画期間（令和７年度）<br>における取組内容の総括 | 評価 | イ：第３期計画期間（令和８年度）<br>における取組・方向性 | 展開 | 担当課 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑶　地域の教育力の向上 | ⑤　スポーツ・レクリエーション活動の充実 | 110 | 各スポーツ団体との協力による活動機会の提供 | 各スポーツ団体の協力により、主に初心者・初級者を対象とした様々な種目のスポーツ教室を開催し、気軽にスポーツに親しめる機会を提供しています。スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団等との連携により各種大会・講習会の充実を図ります。 | スポーツ教室を開催し、子どもたちの活動機会の充実を図った。スポーツ少年団では、所属団が一堂に会するレクリエーションスポーツ大会「親子フェスタ」を開催し、地域子育ての一環となる取組を行った。 | B | 各スポーツ団体の協力により、主に初心者・初級者を対象とした様々な種目のスポーツ教室を開催し、気軽にスポーツに親しめる機会を提供している。今後も、スポーツ協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団等との連携により各種大会・講習会の充実を図る。 | 継続 | スポーツタウン推進課 |
| | | 111 | レクリエーション活動機会の提供 | レクリエーション活動を通して、こどもの体力の向上や健康保持・増進を推進するため、健全育成団体を支援します。地域での指導者養成のため、レクリエーション指導者講習会を開催します。 | レクリエーション活動として、熊谷市青少年健全育成市民会議主催のこどもふれあい交流会（タグラグビーイベント）等を実施した。また、地域の指導者養成のため、熊谷市青少年健全育成市民会議の主導で、青少年相談員協議会の協力のもと、レクリエーション指導者講習会を開催した。 | A | レクリエーション活動として、こどもふれあい交流会等は継続予定だが、レクリエーション指導者講習会は主催団体（熊谷市健全育成市民会議）の意向で、来年度以降、中止の方向となった。 | 見直し | こども政策課 |
| | ⑥　自然体験の機会づくりの推進 | 112 | 林間学校事業の実施 | 自然や科学に親しむ活動として、林間学校事業を実施しています。ボランティアや他課との連携を推進します。 | 自然や科学に親しむ活動として、林間学校を実施した。ボランティアや他課との連携を進めた。 | A | 引き続き実施する。<br>熊谷市立小・中学校クマ対策ガイドラインを作成し、各学校に注意喚起を行った。 | 継続 | 学校教育課 |
| | | 113 | 自然や科学に親しむ活動の推進 | 自然体験活動やおもしろ実験を通して自然に関する興味、関心や楽しさを再発見できる教室を開催します。 | 自然体験活動やおもしろ実験を中心に４期に分けて、ウィークエンドサイエンスを実施している。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 社会教育課 |
| | | | | | 子ども自然科学教室を通年で月１回開催した。<br>実験や体験学習などにより子どもたちの興味・関心を引く事業を展開することができた。 | A | 引き続き、毎年のテーマを変えながら実施し、実験や体験を通じて自然科学に親しむ機会を設ける。 | 継続 | 熊谷図書館 |
| | | 114 | 環境学習活動の充実 | 身近な環境問題にふれ、調査研究をすることにより、児童生徒の豊かな心を育てる教育の推進を図ることを目的としています。学校、家庭、地域との連携を推進します。 | 各校の環境教育主任を対象に研修を行い、教師の指導力向上を図った。また、身近な環境問題にふれ児童生徒の豊かな心を育てる教育の推進を図ることを目的とした。学校、家庭、地域との連携を進めることができた。 | A | 各校の環境教育主任を対象に研修で、有識者を招聘し教師の指導力及び意識向上を図る。また、引き続き身近な環境問題にふれ児童生徒の豊かな心を育てる教育の推進を図ることを目的とする。学校、家庭、地域との連携を進めるていく。 | 継続 | 学校教育課 |
| | | 115 | こどもエコクラブ活動に対する支援・協力 | 小・中学校と連携し、こどもエコクラブへの登録を推進します。 | こどもエコクラブの登録団体に助成金を交付し、活動に対する支援と協力をした。 | A | 今後も継続し、こどもエコクラブ活動に対し、支援、協力する。 | 継続 | 環境政策課 |
| | ⑦　ボランティア活動等の推進 | 116 | 福祉教育の推進 | 車いす体験や高齢者及び障害者の疑似体験等の活動を通じて、福祉教育を推進しています。学校、家庭、地域の連携を推進します。 | 車いす体験や高齢者及び障害者の疑似体験等の活動を通じて、福祉教育を推進した。学校、家庭、地域との連携を推進した。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 学校教育課 |
| ⑷　こどもを取り巻く有害環境対策の推進 | ①　こどもを取り巻く有害環境対策の推進 | 117 | 受動喫煙防止対策の推進 | 市有施設における受動喫煙を防止するため、敷地内の禁煙を推進します。 | 市有施設と公用車の受動喫煙対策状況について調査を実施し、受動喫煙防止対策を推進した。<br>また、市ホームページにおいて受動喫煙等について掲載し周知・啓発を行った。 | B | 引き続き実施 | 継続 | 健康推進課 |
| | | 118 | 環境浄化活動 | 青少年に有害な社会環境を浄化するため、チラシ・ポスター・無許可看板の撤去に協力しています。街頭補導時に公衆電話ボックスなどに貼られている青少年に有害なチラシやシールを撤去します。 | 青少年に有害な社会環境を浄化するため、チラシ・ポスターの撤去に協力した。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | こども政策課 |
| | | 119 | 携帯フィルタリングの普及 | 携帯フィルタリングでは、携帯電話の有害サイトへの接続を制限することを目的としています。パンフレット等を作成し、児童生徒に指導するとともに、市ＰＴＡ連合会の協力を得て、保護者に啓発する等、学校が中心となって家庭、地域と連携し、携帯フィルタリングの普及を図ります。 | 市ＰＴＡ連合会の協力を得て、保護者に啓発する等、学校が中心となって家庭、地域と連携し、携帯フィルタリングの普及を図った。 | A | 引き続き実施する。 | 継続 | 学校教育課 |